昭和二十五年（1950）定價一ヶ月五十圓 一部二圓

磐城毎日新聞

六月十四日（水曜日）第20号（日刊）

磐城毎日

福島縣平市南町（平局區内）六六番
發行所 株式會社磐城毎日新聞社
編集兼印刷人 遠藤孝倫
發行人
電話（平）一一〇番

讀愛御下さい

中小鐵工業界の不振

難局打開に運動開始

平市内の鐵工業は中小合せ三十を數い、平市鐵工業會（會長佐藤源吉）を結成し事業振興に努めてゐるが、市内鐵工業會生産面の七十パーセントを占めてゐる、炭礦業の不振に伴ない浮沈の機に直面してゐる、全國的賃金不振統計に最も多いの金屬關係で次が木工、建築關係となつてゐるところから見ても最近の鐵工業界の不振が極度に窮迫してゐると言ふ事は明白だが、特に平市の鐵工業に於ては其のほとんどが地方産業と關連して成長しただけに最近の事業難による中小炭礦と漁業界の不振は之ら中小鐵工業界の命取りであるとも言えるわけで、各業者は此の難局切抜け策として工場の縮少從業員の整理も一千名を超えてゐたものだ、現在では四百名に減少されてゐる狀態で中小企業体の事業資金融資案もあるが炭礦集荷は八万貫となつてゐる

教育委員會

平市内中學校では昨十三日三時半より平一中に教科委員會を開き各科別カリキュラムの編成について協議した

市内排水溝

清掃運動開始

市衛生課では傳染病の流行期に備へて市内の下水掃除を青年會及び各家庭の協力を得て天候の快復次第實施し、來月中旬迄に完了する豫定尚下水からあげた泥土は市で處理することになつてゐる又除虫菊乳劑を撒布するから掃除の終つた町内は速やかに市役所へ連絡するやう希望してゐる

町村税務主任事務打合せ

地方事務所税務課では本十四日午後一時より川部、大浦、神谷、小名濱、鹿島、三阪、小川、大野等八ヶ町村の役場税務主任を集め事務打合せを行ふ

春繭赤井から初荷

受入れ八万貫突破豫想

片倉製絲の春蠶の集荷は昨朝赤井村養蠶組合長矢野林平さんの三十貫を初荷で始められ今月の末には總集荷が終る豫定だ、今年の養蠶は昨年に比べて非常に良好で昨年の掃立て十グラム平均六貫目を七貫目は確實と見られ、總集荷二割増と見る、春繭の集荷見積り村一万二千貫、相馬一万五千貫と豫想されてゐる、昨年度の春繭の集荷は石城一万六千貫、田村九千五百貫、相馬一万二千貫で年間の總集荷は八万貫となつてゐる

市内税務主任事務打合せ

地方事務所税務課では本十四日午後一時より川部、大浦、神谷、小名濱、鹿島、三阪、小川、大野等八ヶ町村の役場税務主任を集め事務打合せを行ふ

保母講習會

出席者を人選中

福島縣兒童福祉會では現任保姆の再教育を來る十七、八の兩日郡山市安積女子高校に於て行なふ、講師は日本社會事業大學教授朝原梅一氏、管内出席者目下人選中

開拓農業資金

開拓者資金融通法に依つて出席者に對して本年度の資金割當が組合單位で次の通り決定した

炭カル資金は一戸當一瓩、農機具資金は共利用として二十二戸に一組、畜力農機具は導入家畜二頭に付一組牛馬車具は導入家畜五頭に付一組、家畜資金は二十三年度入植者十六戸に付一頭二十四年度分は經營規模に關係なく四戸に付一頭、尚郡下の適用者は植田二、川部三、田人六、大野一四、磐崎一である

小島部落分離

内郷母町は反對

小島村分村問題について内郷町當局は協議會を開き可否如何を檢討したが、母町側には反對の意響が強く躍氣となつてゐる部落民は縣當局に働きかけるべく傳えられてゐるが結果實現は不可能視されてゐる

社説

自治警察の醜態

他縣では警察の醜態が幾多暴露されてゐる、縣内でも石川町署が最近槍玉にあげられてゐる、こん度の事件に付て國警縣本部では自治警察の監督と處分權がない爲め斯うした事件が發生してゐると言明してゐるし、ほじくれば縣内でもこの種事件が相當あることを裏付けてゐる譯だ見聞の狭い記者なぞも幾多の醜狀を聞いてゐる、只確證を握らぬだけである、然し材料を提供すると意氣まいて私ふんをもらす者もゐるこれは警察官の位置と四圍の事情による所謂社會の罪と言うことが出來ようそれはそれとして、職責を果す爲めに自己の位置を念頭に置かず、自から惡黨と組する信念の貧困さにはあきれるより外ない

今に始つた譯でない戰前の警察にも非行はざらにあつた、然しそれ等は政黨に支配されるもの事業家や料理店の犬の役目が多かつた、此の頃ではそれもある得体のの知れぬ徒輩を組んで總ての犯罪が默殺して終うし、それによつて惡黨は益々跋扈する、心邊常に淨き者は義ふんを抑えて歎いてゐなければならない、警察程それが甚だしいものがある、無警察、無警村には絶えず難い生活の不安であると事實その通りである、町のボスに關する問題は頻かに連のある問題であるし急病患ぶりである場合醫者を者がある軒ごめ往診を賴んで軒ごめ往診を賴んでくれない、警察も醫者もありながら無いのと同じなもの跋扈がある

密造酒呑む者國賊だなぞと宣傳大いに努めてゐるが、酒屋と謀つたり納税者との間に私情を差しはさんで國家の財源を大なり小なれ中間搾取してゐる事實が絶對ないと斷言出來るかどうか、法の私物化に就ては斷じて許すべきでなく、これ等も國民の手で清算すべき機會が到來してゐるものではあるまいか、何れにもせよ惡德官吏の根こそぎの淨化が必要である

人事ニュース

△教育委員會事務局石城出張所千葉、鈴木両氏は大野村八茎の小中學校の教育視察に十三日出張した

△土地改良事務所飯高技師外三名は二十三年アイオン台風被害地の工事完了狀況檢査の爲十二日小名濱出張十三日歸廳

人生旅日記

執行吏 松崎博さん

平市南町松崎博さんではピンとこないが、執達吏の松崎さんなら財界人や事業家乃至は一般人でも知らない人はもぐりかも知れない、敢て失意の人と顔馴染の譯でもなく恩を仇で返すやうな不都合な人間には一寸苦手の存在であるかもしれぬが、是れも役目の手前權利の行使を公正に執行する公務員である

此方に便利をお願いしてご用立をして貰つて其後に知らん顔や不義理の横着、恩を忘れるのが當世風の利巳主義者の義務の履行を直接果たさせるのが大体が執行吏の業務なのであらう、松崎さんは此の役人なのである

昔は執達吏、現在の名稱は公務員中の執行吏、以前は區裁判所の所屬下であつたが二十一年に福島地方裁判所管下に於て公務の執行と範圍が擴がり、其時から執達吏の名稱を廢して執行吏と改まつたのである、裁判所書記を十四年間も勤めて現在の執行吏になつて既に十七年やめれば恩給生活も出來得ることにもなるインフレ時代にはあきれる程仕事がないのも裁判所で權利義務の訟訴事件が其の影を見せなかつたからでもあるが、今度のデフレで昔に返つた多忙さを現はして來た、昨今ではこれも足踏み狀態を示してゐる

財産の處分や差押えに行つてもよく相手に因果を話して理解させ、事情の許す限りは恩情を以て處理すると云ふ弱者の代行者としても道義の念を持つて危險性を發揮させない溫情味ある手腕家であるから決して悲劇的に事件を終らせない

物事にはかたく職務には堅固、今時の役人には珍らしく今後とも此の信念で行くことだらう

望

最近生活苦よりの一家心中自殺が流行して來たこれは經濟危機を雄辯に物語る社會相の反映に他ならない事實ではあるが一旦人間として此の世に生をうけた以上生活に行詰りを感じたから惱みを打開する方策に盡きたからといつてすぐ死なければならないと考えるのは實に意氣地の無い憐れなか弱い、而も考えの淺はかな人々であると思はざるを得ない

生物はすべて長い苛烈な生存競爭に勝ち拔き自然淘汰を克服して現存し更に今後も地球の存在する限りこれらの葛藤は絶えず續けられていくのである

人間社會に於てもこの熾烈な斗爭は目にこそ見えないが日常展開され續けられているのだ、即ち我々毎日の生活そのものが大きな斗爭なのである

自然の威力に脅かされ社會の浪にもまれ幾多の困難に遭遇し、數々の惱みに直面してこれを解決しつゝ一日一日を送る處に人生の味わいがあり、人と生れて來た喜びが見出され生活甲ひを感じ明日への希望が生まれてくるのである

室内放送

田植の頃

二中二ノ一 八木美和子

池の中でふなが元氣よく泳いでいる姿を見ていた道男は、突然フットボールをして遊びたくなつた、それで兄の敬一に相談すると「こないだかつてもらつたフットボールはおれがかんしやくをおこして鋏で切つてしまつたからおじいさんにかつてもらつたらいい」と言つた、道男はさつそく座敷へ上つて倉三のいる所をさがした倉三は奥の縁側に鏡台を出してうすくなつた頭の毛をしきりに櫛でとかしていた「おじいさん、フットボールかつてくれよ」「こないだ買つてやつたじやないか」「うん買つたものはいつまでもあるものか、あればいさんが鋏で切つちやつたよ」「あははは……しようのないやつだ、よしよしかつてやるから待つてろ」「今すぐだよ」「今は金がないから駄目だ明日になつたら少し入るあてがあるから、それまで待つていな」「いやだよ今いるんだ、今買つてくれ」「ははは……そんな無理を言つたつてだめだろう」「買つてくれないなら、鏡台をひつくらかえしてやるから」

道男はそう言つたかと思うといきなり鏡台を足でけとばしてひつくら返してしまつた、それでも倉三は大しておこりもしないで鏡台をおこしてやつた

母親は次の部屋で、わたまゝそれを眺めていたが「道男や、おじいさんが買つてくれないならわたしが買つてあげるからおとなしくしておいで」と言つただけだつた、夕方になつた、田植横目で見ながらそんな事をおわつた、敏郎母子と作男の六助とは台所で晩飯を食べた、そして敏郎と母とは茶の間にとおつて倉三にあいさつをした、倉三は孫たちと晩飯を食べていると語つた、ぜんの上には譯さんのごちそうが並んでいた「さあ敬一、そのおわんあけてみろ、何が入つているかな」「おほ！卵の吸物じや」「おじいさんこの皿に入つているおさしみは何という魚だろう」「うん、それはかつおだろう、一切食べでごらん、どうだうまいだろう」こんな事を三人が口々に言いながら、みせつけるようにして食べている、敏郎と母とは座敷の隔に行儀よくすわつて、それを眺めていたフットボールは明日きつと買やるからな、二人きりで遊んで他の者にかすんじやだないぞ」倉三は敏郎の顔を一にはかなかなわなくなり言つていた翌日倉三は孫たちにフットボールを買つてやつた、敬一と道男は門の中の芝生の上で楽しそうにプットボ！ルをしていたが、敏郎がそばに來ても知らん顔をしている、そのうちにどうかしたはごみでフットボールが石べいをこえて表の方にとんで行つてしまつた、二人はわれ先に門の外に出て見たがフットボールは自動車に引かれたらしく大きなさけ目が出來ていた、道男は痛ましそうにぼ！るを撫でながら言つた「にいさんがわるいんだ、あんなきついたまをよこすから」「なにッ、お前がうまく受けないからわるいんだ、ボールがとんで來るのにぼさ一つとしているやつがあるか」「ずるいぞ」と道男がいくらさけんでも口の上手な敬一にはかなかなわなくなり手當り次第石や棒切れを投げつけた「らんぼうするのはやめろこのでれすけ！」「まだやめないか、ひどいぞ」などと云つて敬一はあくまで口で勝とうとしているが、それでも道男はだまつているので口惜しくてたまらずとうとう道男のほゝを力一ぱいなぐつてしまつたそれがあまりにも痛かつたので、道男は半分ベソかいで家の中にとんで行つた、台所に下駄のまゝ上つて出ばぼうちやうを取ろうとしたが、母の敦江にみつけられた、敦江は今朝始めて起きられるようになつたので茶の間に坐つていたが「道男ほうちようなんかで何するの」と云つた、道男は默つて外に出た、そして敬一にほうちやようを投げようとしたとき、後から手を敦江におさえられてしまつた

（つづく）

祝 磐城毎日

株式會社 魚市場
本社 平市四町目四番地
市場 平市四町目郵便局西隣
電話一、二三九番

魚店
平市四町目
電話二一三番

魚店
平市南町
電話三三〇番

タコ部屋脱走事件!!

現地報告で眞相判明

曩に平職業安定所が内郷町失業者を栃木縣鹽原町日産土木作業所に斡旋し、脱走したものなどあつて問題化し、平職安の係員が眞相を究明に現地に赴いて調査し事件の全貌を明らかにしたが、更に栃木縣太田原勞基署からの勞基法違反有無調査の結果が平勞基署に届いた、それによると時間以外の勞働を強要した事實はなく多額の收入を得んとするものが時間外の勞働をしてゐること

宿舎問題は歸農する地元勞務者が立退く前に内郷町勞務者を受入れたゝめ未完成な宿舎に二、三日の豫定で我慢して入つてもらひ、寢放つてゐる

市民生委員後任三氏任命

平市民生委員渡邊レイ（一六區）大森勇（一三區）井上貞次郎（九區）三氏の辞任に伴つて去る十二日市役所に民生委員會を開催、次の諸氏を推薦、後任者と決定した一六區小野金太郎、一三區佐藤巖、九區熊谷保高の三氏

職安事件九名

公務妨害で起訴

地檢平支部では平職安おしかけ事件の容疑者内郷町字綴河端助松（二九）同佐久間喜代治（二五）同町字宮高萩善成（二五）の三名を建造物不退去並びに公務執行妨害で同町字白水安藤宏（二三）平市字上荒川野崎峰（二〇）同鍛冶町會川良平（二六）同鎌田岸長岡霈（二五）内郷町白水渡邊良雄（二一）同綴加藤キヨノ（二八）の六名を建造物不退去で十二日佐藤昭吉を除く九名をそれぞれ起訴した

豪雨禍被害

△石城郡上小川村丸山地内の小川江筋が十二日朝約十間にわたつて決壊一市一町六ケ村に冠水復舊作業を急いでゐるが二、三日かかる見込みで損害約百万円

△午後六時半頃好間村と箕輪村境三阪縣道に約十五米に亘つて山崩れがあり交通遮斷となつた

△午後五時半頃赤井村の水田約三町歩冠水

△川部村勿來町間の用水路が埋沒し損害八十五万円

△小川村下小川地内小川、平窪間の用水路の隧道が高さ五米幅三米に亘つて決壊した

北海道博覽會

出品要望さる

既報北海道、新潟の博覽會出品勸誘會は十二日午後一時から鈴木縣商工課主事の出席を得て吳羽化學、東北ガラス、土管工場等代表が出席し平商工會議所で行なわれたが北海道開發大博覽會には吳羽のDDT、新潟産業博覽會には東北ガスがそれぞれ出品することになつた、尚ほ商工會議所では參加しなかつた品川白練瓦、福島縣合同カンズメ株式會社、福島縣農業會四倉カンズメ工場其の他にも再度出品勸誘を行い縣外進出の途も開く筈

長雨の崇り

麥、菜種減收豫想

田植遲れて農家悲鳴

連日の降雨で悲鳴まで續くか知れないこの天候では馬鈴薯は勿論のこと麥類も腐つてゆくのではあるまいかと懸念されてゐる

田植時に入つて麥やいもの取り入れもぎた梅雨だ、この飛つ散りを喰つてゐるのが市内の各商店である、田植時には毎年のことだが地方からの客足はぐんと減つてくるし、この時と田植祭りに魚類を買え込む百姓さんも今年はめつきり來てくれず魚屋さんの賣揚げにも影響はある何とか晴れ間を見せてくれなくちやと茲にも恨み聲を降り出してから相當になるし何時晴れ間を見せるか測り知れない蔭鬱な空模様、別莊暮しの樂隱居さんなら別として屋外勞働者等には打擊が大きい職を與えよ、も罹り通らす自然の惡戯だ「土方殺すにや刃物はいらぬ」とはよく云つたものだ、土方仕事ばかりでない、百姓さんも泣く田植に町から手傳べく農家へ行つた親類の人も雨にはたゝられる腰から下は水の中

商店だつて客足はメツきり減るし、道行く人も憂鬱だ、軒下のツバメや雀だつてチユウともピーとも鳴かないし、姿だつて見せはしない魚貝類だけが水害や何やで悲鳴をあげてゐる人間の世界をよそに雨にぬれたり水不足の心配もなくエサを漁つてゐることだらう、その他は皆んな泣面だ

同じ店屋に六回

◆……酒盜むチンピラ擧る

石城郡内郷町綴字沼尻一一無職村山通（一五）仮名は去る五月二十三日午後八時頃小遺錢欲しさから平市研町十番地酒類販賣業屋島康輔さんの店先に忍び込み清酒三升、二千二百二十円相當をせつ取したのに味をしめ同夜さらに午後十時ころ忍び込んだが未遂に終り翌二十四日午後五時半頃同家店先賣上金から二千円を盜み同午後九時頃再び忍び入つて清酒二升、千四百四十円相當をかつぱらい翌二十五日午後十時頃同家から清酒一升、七百円を盜み二十七日午前九時頃またも同家から清酒一升罎詰二本、千二百九十円相當を盜み出し同夜午後九時ころ市内長橋町三七ますだ榮さん方から腕時計一箇、時價五千円相當を盜んで平市署に御用となつたが、村山某は性來放浪癖と盜癖を有つて居り、かわてから福島家庭裁判所平支部から同行狀が出されて居るもので搔拂つた清酒は平驛前某屋台店に賣却、買食いにあてていたもの二升位は友人と飲んだと云つて居り二十三日から四日間に計七點、一万一千四百四十円相當を盜んだもので取調べに當つた係官を驚かせたが十三日送檢になつた

社會黨員資金募集

社會黨石城支部では賃上要求の隅田川炭礦ストライキが全常磐炭礦の賃金問題の突破口であり、又それは石城地方の社會、經濟を窮地から救ふ唯一の途であるとし全黨員最低二十円のカンパに黨員が街頭に進出一般からのカンパを行ふと共に日農と協力農民層にも呼びかけるなど昨日から雨降る街頭にのり出した

平醫師會△△△△△愈々設立

既報平市在住六十一名の醫師中四十一名の贊成を得て石城醫師會より離脱して去る十二日午後三時より市内南町助産婦學校に設立總會を開いた平醫師會は正式に結成を告げ諸般の手續をとつて新發足した、役員は左の通り決定した

議長＝諸橋鐵彌、副議長＝中田三郎、會長＝實川彌太郎、副會長＝安齋徹、叶多正敏、理事＝鈴木正男、石垣銓、小野彌久、高久孝、齊藤正雄、後藤全久、監事高柳博明、松本源一の各氏

農作物調査

草野村に實施

平統計事務所では毎月十五日現在の農村物價賃金の調査を行つてゐるが、價格勞賃について全國農村の立地條件による地域差を見ながらあゆる農政面に活用する資料の調査對照町村は草野村で米麥等の主食物を始め野菜等の販賣價格、肥料農機具等の農家購買品等七拾余品目についての自由取引價格及び勞賃について調査することになつた

崖崩れ!!江名

家屋一戸半壞す

十三日午前十一頃江名町中ノ作字長田一番地漁業山田榮吉（二八）さん宅の裏山が八平方米に亘つて突然崩壞居宅は半壞し居間に休んでゐた同長男金治五ちやんと美母田ロイチ冫さんは前額部に全治十日間の傷を負つた

市民の一年間食肉

ブタ千九百頭に達す

全般的な物の値下りとゝもに肉類も大分安くなり廣く一般の食膳に運ばれてゐるが、一体一ケ月にどのくらいの肉が市内に出てるのか調べて見よう、五月に使用されたものはブタ二百九十六頭、牛四頭、馬九頭でこれが炭礦方面と市内とで約半分位づつ消費されてゐる、百目當りの値段は牛肉が百―一五〇円、サクラ肉三〇―四〇円、ブタ百―一一〇円程度で昨年から比較すれば四割位い安くなつてゐる、なほ昨年ではどのくらい消費されてゐるか調べて見ると馬一四〇頭、牛二一四頭、ブタ一、六六六頭となつてゐる

農繁期休校

農繁期に入つた久の濱町各小中學校は十日から二週間休業することになつた

無錢遊興

住所不定無職

前科三犯島田幸平（二六）は去る五月三日夜友人某を御馳走すると平市田町である食堂大谷菊次郎さん經營に連れていき飯食中便所にいく振りをして逃げ出し千円相當を無錢飲食したことが判り七日送檢餘罪多數ある見込

火防組役員會

平市火防組では來る十五日午後二時より市役所に役員會を開催本年度の事業畫について協議する

平工高カメラ

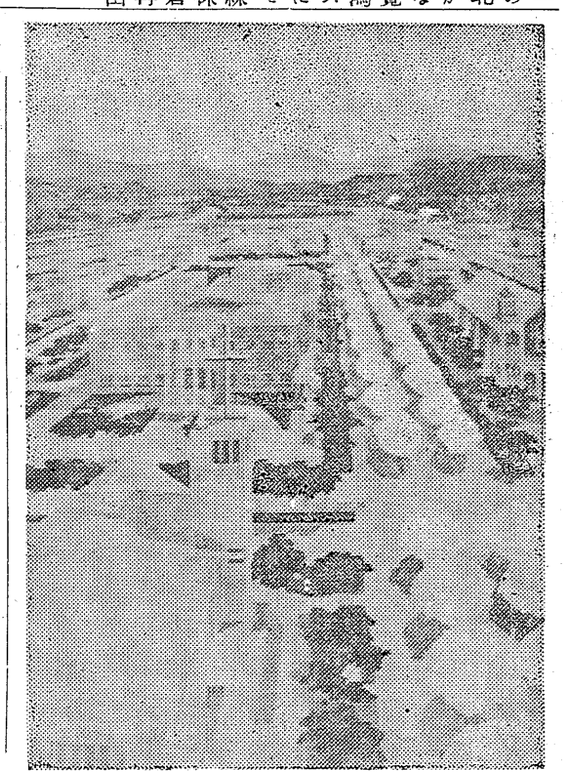
第一回寫眞展

平工高カメラ倶樂部では十六七八の三日間同校スタデイホールで第一回寫眞展覽會を開く

常磐交通車庫

三千萬圓で建る

常磐交通株式會社では工費約三千万円、建坪二百五十坪の大自動車整備工場を市内五色町に建設すべく三月末準備してゐたが、愈々本格的な建築を開始した、八月三十一日までには完成の見込みであり東北一と稱される同會社の整備内容の充實は見るべきものがある



希望の平が着々實現されてゆく　眞中の建物は既に完成したカトリツク教會　市役所である

魚菜相場

―十三日現在―

（鮮魚市況）

（單位貫）

かつを	二二〇―二五〇円
たい	六〇〇円
あじ	一五〇―一八〇円

【青果市況】

―（マルサ市場）―

きやべつ	五―一〇円
きうり（一本）	二―七円
大根	一五―二〇円
えんげん豆	二五〇―三〇〇円
ねぎ	七―八五円
馬鈴薯	二五―五五円
玉ねぎ（地方）	三〇―四五円
山東菜（小束）	二―四円
たけのこ	五五―八〇円

雨のため依然高値續き

株式市況

（磐城證券）

―十三日現在―

東海上	五四六
新郵船	九五
三井船	八九
日發	三五
三井山四五・五	
日石	七五
三井造	八三
日立二四・五	
鋼管	二四
東洋紡	一四六
鐘紡	一〇五
日清紡	二四二
吳羽紡	七五
日東紡	六六
片倉	四〇
帝人	九七
東洋レ	七六
新光レ	一三五
山バル	一六一
東北バ	一六
日麥酒	四三〇
朝麥酒	四二〇
キリン	四八三
寶酒造	一四八
野田醬	三七五
豐年油	一六八
高壓	三三
日產化	五六
吳羽化	五〇
苫小牧	一四六
十條紙	一五六
本州紙	一六〇
日セメ	三七
磐城セ	一七〇
小野田	一一〇
不動新	三一〇
陽和不	三〇二
開東不	三〇
越	四一五
日活	一四〇

何と言つてもさかいやへ
處は平市六丁目通り
よい品をウント取揃へ
りいきを忘れた勉强で
もうけるのは御客様
安い安いと大評判
つまでも御引立を!!

福島縣教育委員會事務局
石城出張所
所長　添田亥之吉

平市公安委員會

増築記念賣出し
近日開催
定評有る
大塚の靴
各種
運動具
体育機器
優勝旗……カツプ
運動着衣
平驛前　大塚　三十米通り
電話77番